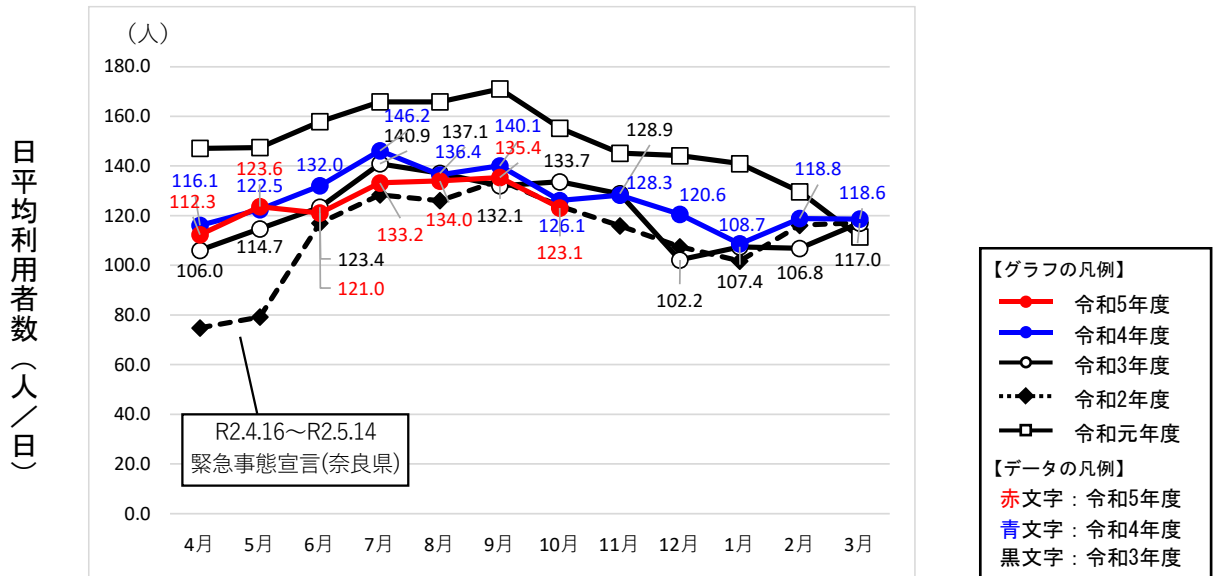


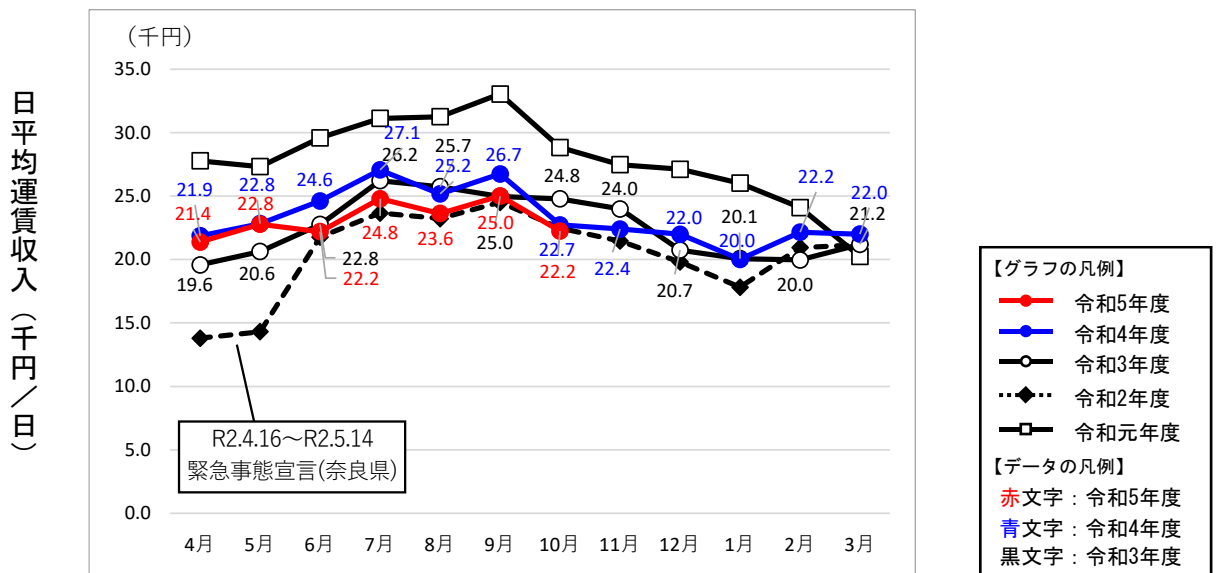
1. 光陽台線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、令和2年3月以降は新型コロナウイルスによる外出自粛の影響により大きく減少したが、緊急事態宣言が解除された令和2年6月以降は季節変動やオミクロン株の流行等の影響による増減を繰り返しつつ回復傾向にある。令和5年6月以降は前年同月を下回っており、10月も前年同月をやや下回っている。
- ・運賃収入(日平均運賃収入)は、令和5年6月以降は前年同月を下回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

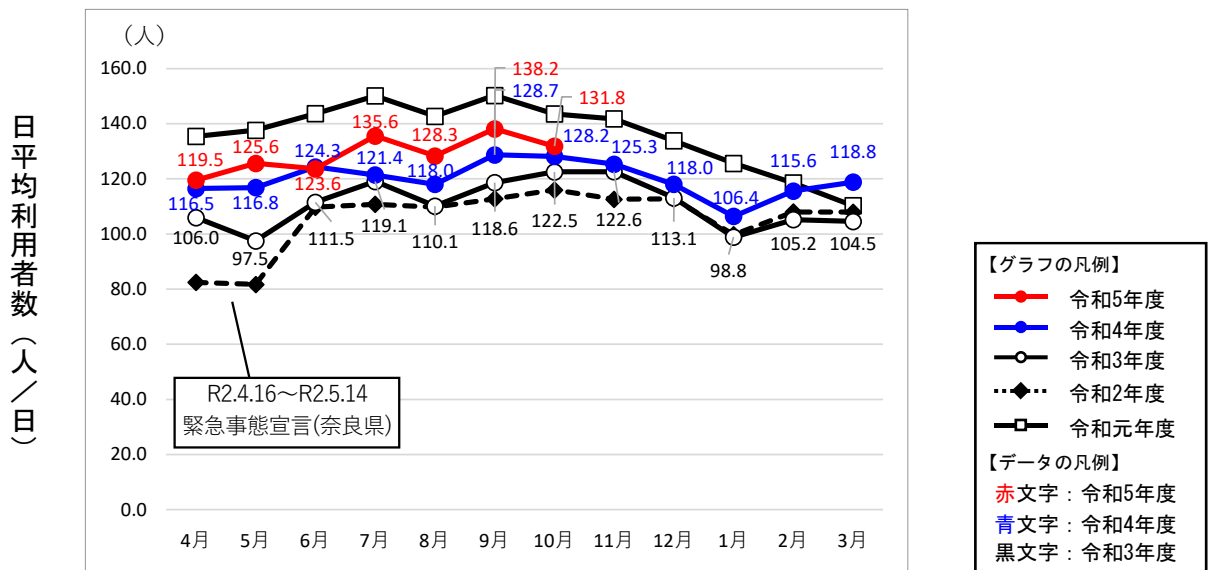


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

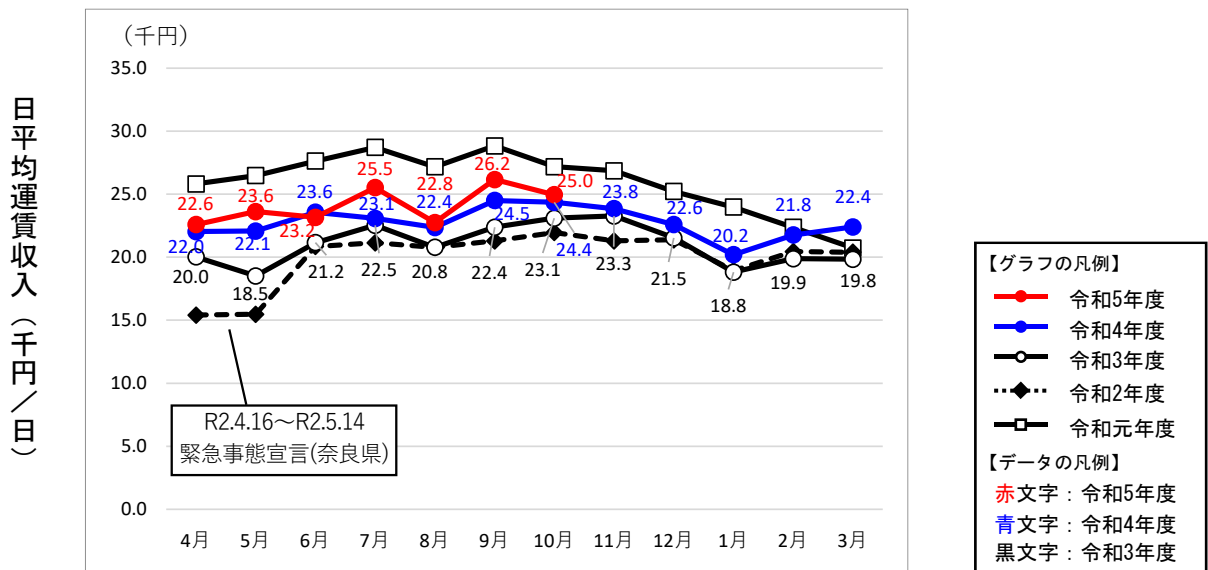
2. 門前線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、令和2年3月以降は新型コロナウイルスによる外出自粛の影響で大きく減少したが、緊急事態宣言が解除された令和2年6月以降は季節変動やオミクロン株の流行等の影響による増減を繰り返しつつ回復傾向にある。令和4年4月以降はほぼ全ての月で前年同月を上回っており、令和5年10月も前年同月をやや上回っている。
- ・運賃収入(日平均運賃)は、利用者数と同様に令和4年4月以降はほぼ全ての月で前年同月を上回っており、令和5年10月も前年同月をやや上回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

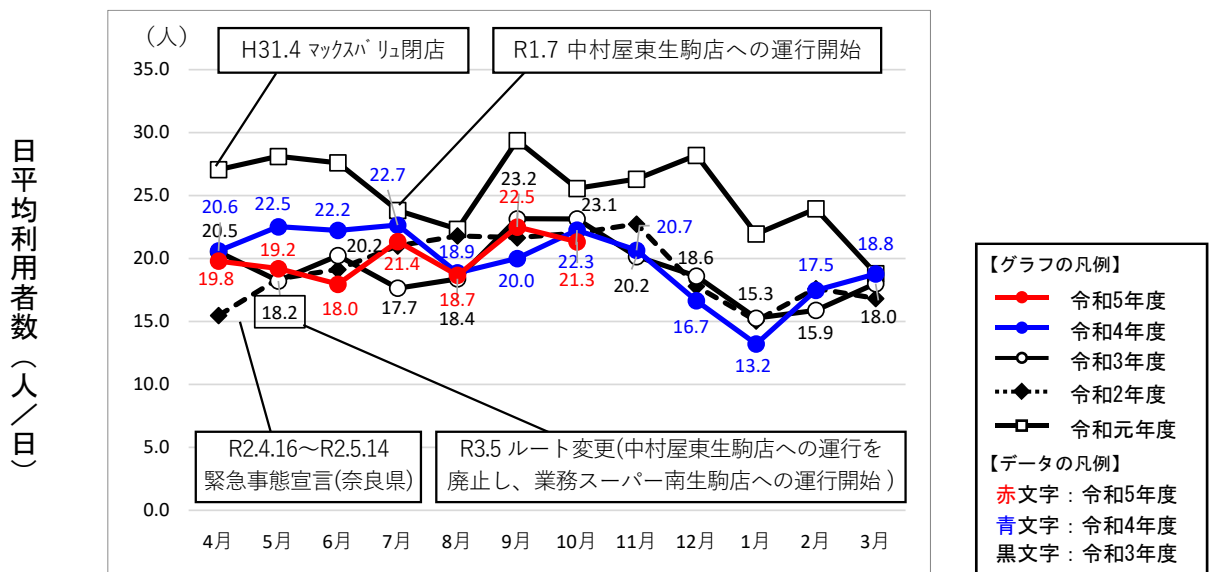


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

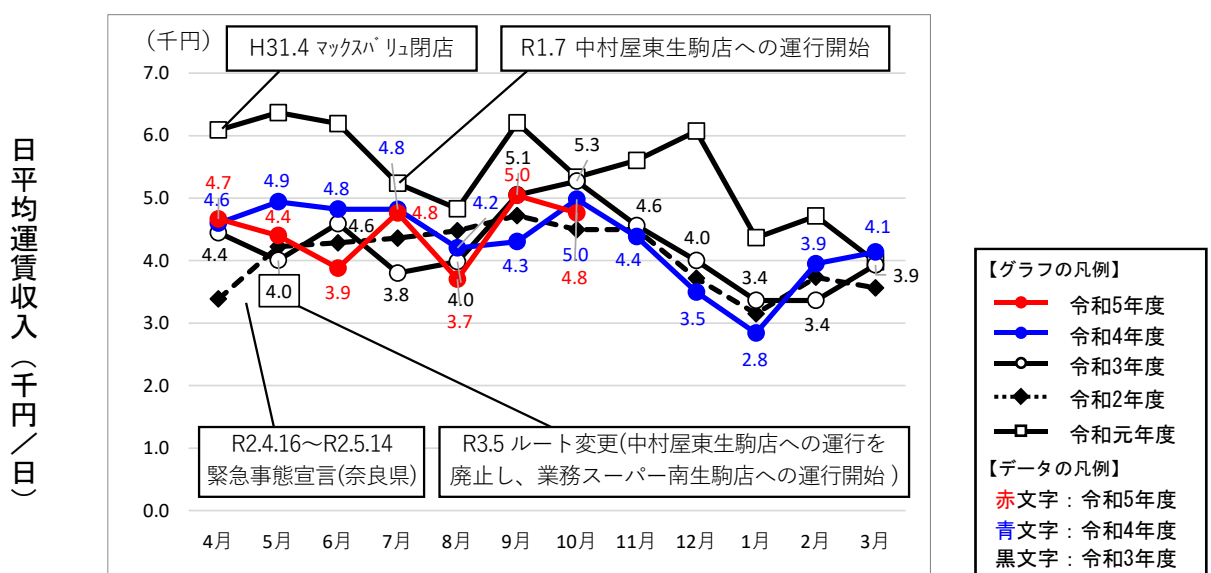
3. 西畑・有里線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、令和2年3月以降は新型コロナウイルスによる外出自粛の影響により大きく減少したが、緊急事態宣言が解除された令和2年6月以降は季節変動やオミクロン株の流行等の影響による増減を繰り返しつつ回復傾向にある。令和5年4月以降は前年同月を下回る月が多く、9月は前年同月を大きく上回っていたが、10月は再び前年同月を下回っている。
- ・運賃収入(日平均運賃収入)は、利用者数と同様に令和5年4月以降は前年同月を下回る月が多く、9月は前年同月を大きく上回っていたが、10月は再び前年同月を下回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】



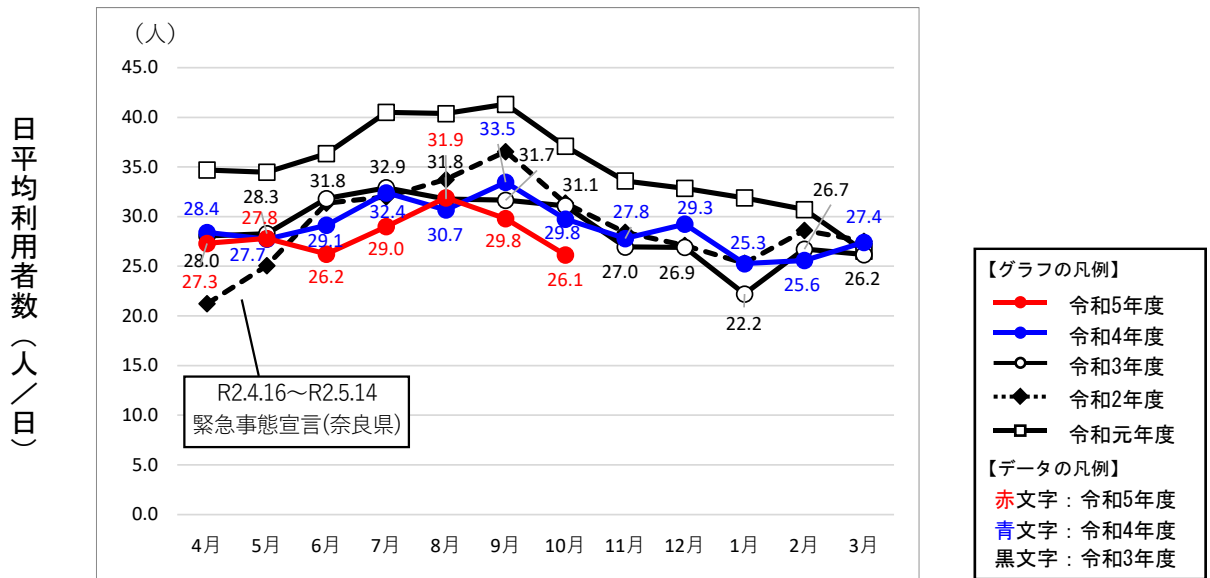
※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

4. 北新町線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

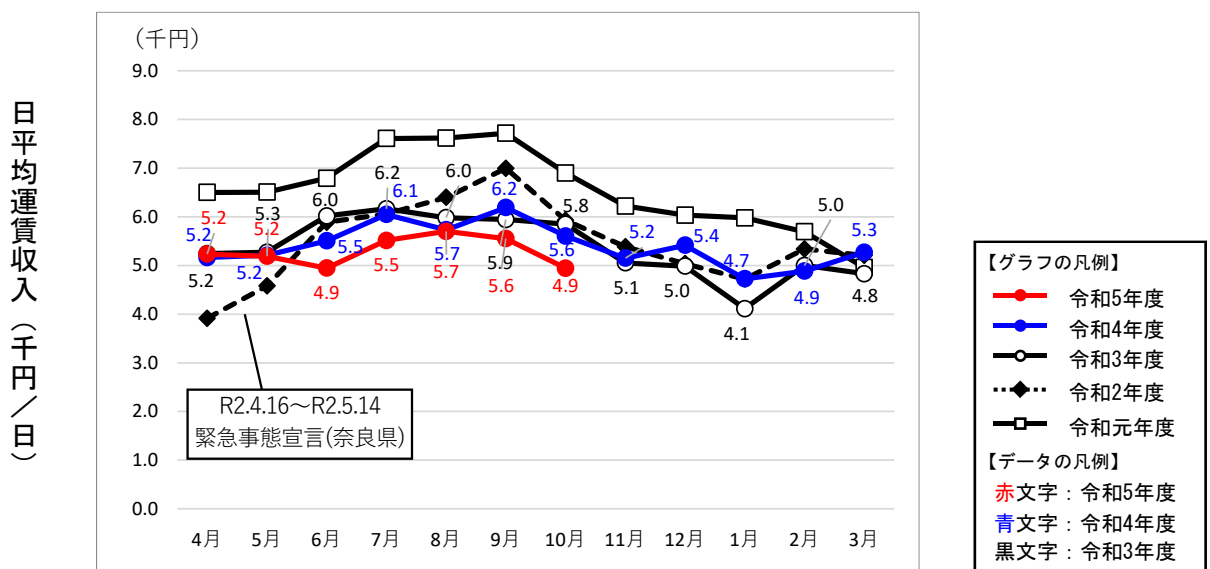
・利用者数（日平均利用者数）は、令和2年3月以降は新型コロナウイルスによる外出自粛の影響により大きく減少したが、緊急事態宣言が解除された令和2年6月以降は季節変動の影響やオミクロン株の流行により増減を繰り返しつつ回復傾向にある。令和5年6月から8月にかけて増加傾向にあったが、9月以降は減少傾向であり前年同月を下回っている。

・運賃収入（日平均運賃収入）は、利用者数と同様に令和5年6月から8月にかけて増加傾向にあったが、9月以降は減少傾向であり前年同月を下回っている。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

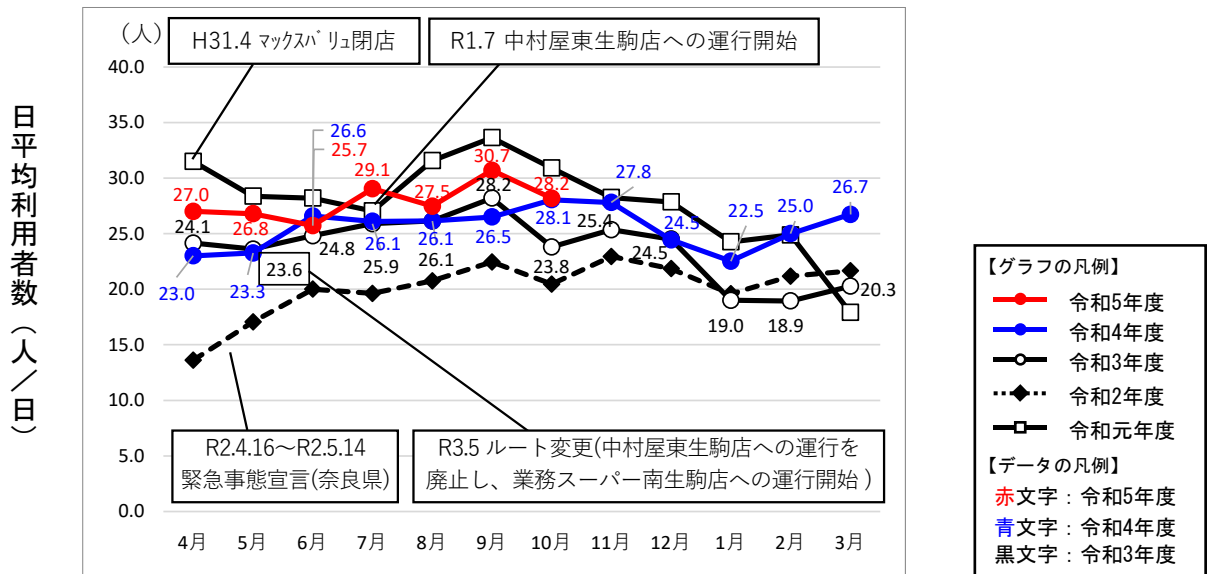


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

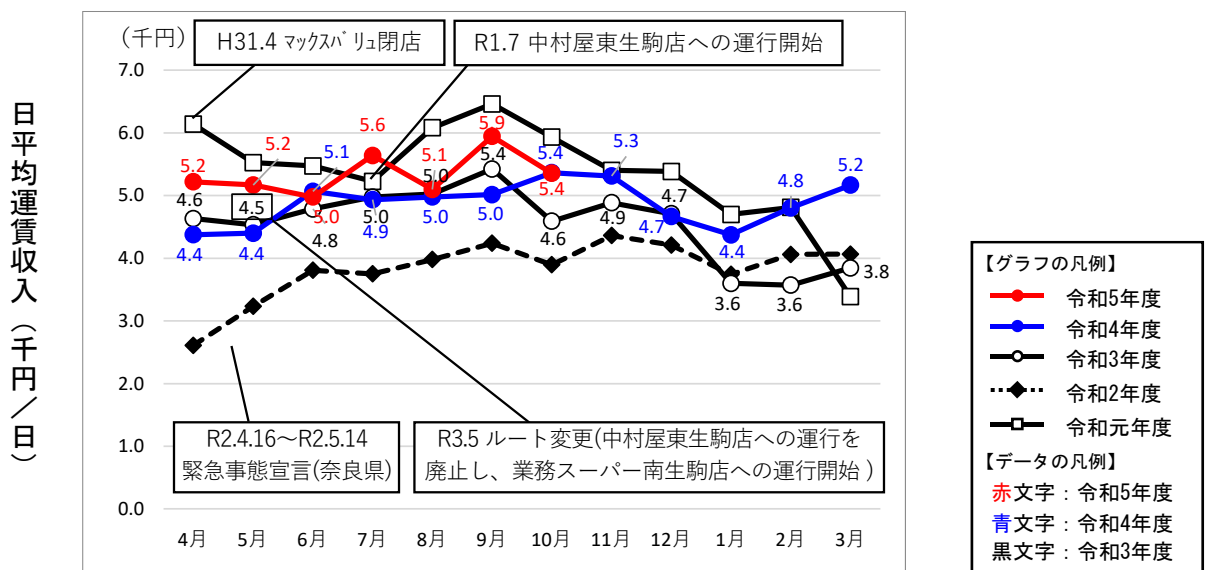
5. 萩の台線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、令和2年3月以降は新型コロナウイルスによる外出自粛の影響により大きく減少したが、緊急事態宣言が解除された令和2年6月以降は季節変動やオミクロン株の流行、令和3年5月のルート変更等の影響による増減を繰り返しつつ、回復傾向にある。令和5年4月以降は前年同月を上回る月が多く、9月は前年同月を大きく上回っていたが、10月は前年同月と同程度まで減少している。
- ・運賃収入（日平均運賃収入）は、利用者数と同様に令和5年4月以降は前年同月を上回る月が多く、9月は前年同月を大きく上回っていたが、10月は前年同月と同程度であった。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】

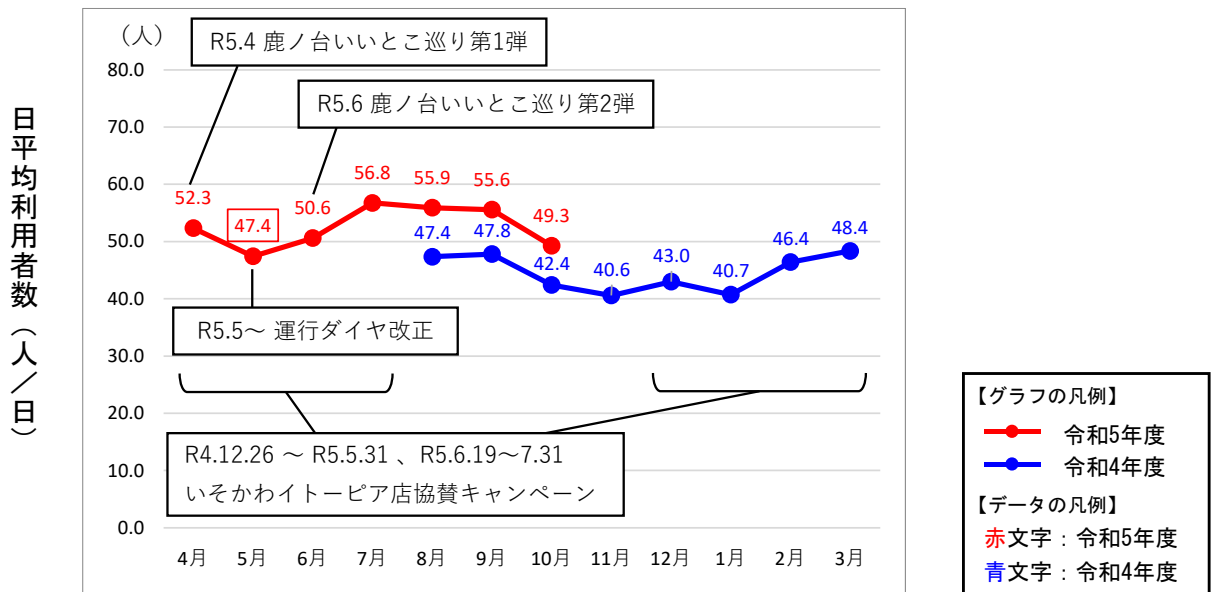


※運賃収入＝現金収入＋回数券（使った金額）

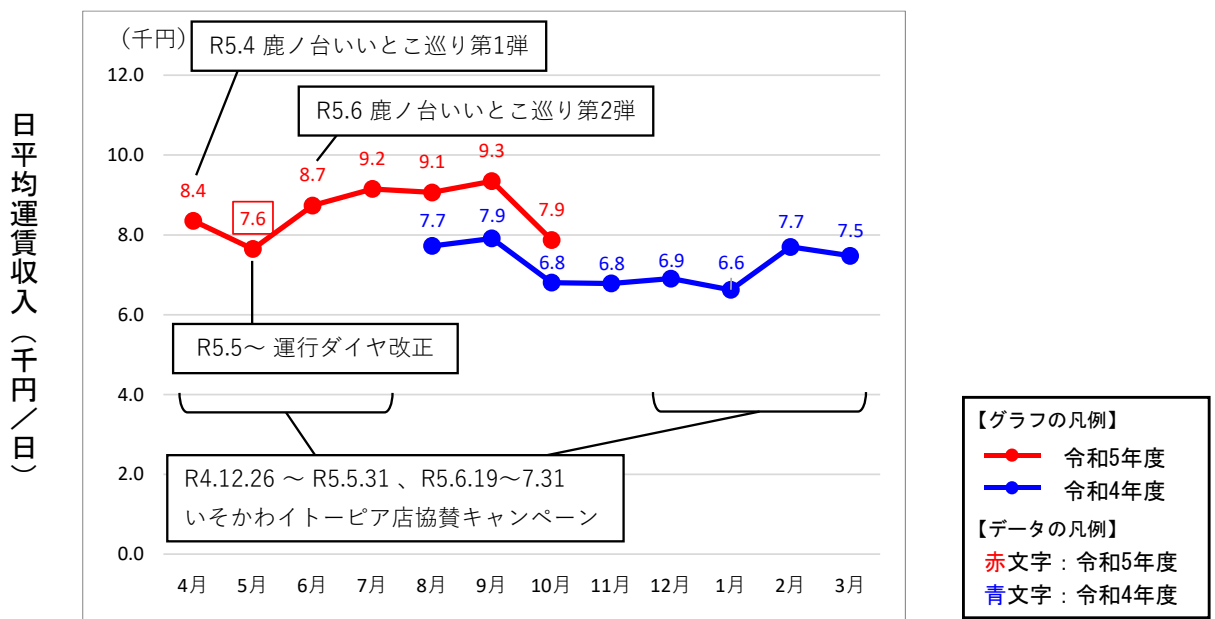
【参考】鹿ノ台線におけるコミュニティバスの利用者数（乗車人数）及び運賃収入の推移

- ・利用者数（日平均利用者数）は、実証運行を開始した令和4年8月から令和5年1月にかけて減少傾向にあったが、地元による利用促進施策（地元スーパー協賛によるキャンペーン実施等）やダイヤ改正等の影響により、令和5年2月以降は増加傾向にある。令和5年10月は前月から減少しているが、前年同月を上回っている。
 - ・運賃収入（日平均運賃収入）は、利用者数と同様に令和5年2月以降は増加傾向にあり、令和5年10月は前月から減少しているが、前年同月を上回っている。
- ※鹿ノ台線は現在実証運行中であり、令和6年1月から本格運行を予定している。

【月別の1日あたりの平均利用者数の推移】



【月別の1日あたりの平均運賃収入の推移】



※運賃収入＝現金収入（回数券利用はなし）